深谷市こども館 「こどもふっかパーク」視察報告概要

資料４-2

【視察日時】 令和８年９月４日（金） 【視察先】埼玉県深谷市「ふっかパーク」

1. 施設概要および基本構造

・施 設 名 称: こどもふっかパーク（児童福祉法に基づく児童厚生施設に準拠／公の施設）
・施 設 構 成: 公立幼稚園との複合施設（1 階：幼稚園・体育室・一時預かり等／2 階：メイン遊び場・自習室等）。市街化区域。
・コ ン セ プ ト:「いつでも遊べる 学べる 子育てパーク」（学校・家庭に次ぐ第三の居場所の提供）
・開 館 ・ 運 用: 9:00〜18:30（月曜休館）。市内無料、市外子ども 100 円、大人 500 円。
土日祝は LINE 予約制。
・用 途 と 面 積: 子ども・子育て支援の複合施設（こども館・併設幼稚園）
敷地面積：6,000.44 ㎡、全体延床面積：4,962.96 ㎡（うち併設幼稚園部分：約 1,400 ㎡）

2. 各主要機能の主な特徴と運用の工夫

◎アソビバ（メイン遊び場）：多重知能理論（8 つの知能）に基づく 7 エリア構成。安全対策（透明部材への色付け等）や破損対策（継ぎ目のない 1 枚もの人工芝への変更調整等）を推進。
◎わんぱくアリーナ（体育室）：ネットでエリアを二分し、年齢別の衝突を防止。幼稚園の雨天利用時は一般制限。
◎デジタルエリア・自習室: AR 運動や知育サイネージ等を定期更新。自習室 38 席と全館 Wi-Fi を完備（保護者の見守り低下防止のため Wi-Fi の広報は抑制）。
◎安全・セキュリティ: 幼稚園と動線を完全分離。管理扉・独立警備・カメラ 25 台で往来・防犯を厳重管理。

3. 事業手法・財務および複合化の成果

・運 営 形 態: 市直営＋受付・見守り業務の一部委託（公募型プロポーザル）。指定管理を避け、開館初期の柔軟なルール改定（LINE 予約の当日直前キャンセル対応等）や迅速な予算対応を実現。
・財 源 活 用: 国の補助金（都市構造再編集中支援、デジタル実装型交付金、地域子ども・子育て支援）をフル活用。
・複合化の成果: 幼稚園と連携し、休館日のこども館を園児が活用するほか、土日祝は園庭を市民開放するなど相互利用を実施。

4. 守谷市における計画への示唆・課題点

・エントランス動線の確保: 手続きや靴脱ぎ履きが集中するため、入口・下駄箱周りは想定の 1.5〜2 倍のゆとりが必要。
・放課後利用を見越した駐輪場: 小学生の自主来館により自転車が溢れたため、計画初期から十分な区画確保が不可欠。
・設 備 と 修 繕 体 制: おもちゃ等は継ぎ目のない「一体成型」を指定し、迅速な修繕枠組み（予備費等）を整理する。
・完全防音とセキュリティ対策: 保育所と児童館の完全な動線分離のほか、音楽室・体育室等は設計段階で防音・床補強を徹底。